

お 泉 水

福井県図書館協会報

第 54 号 (2024 年 3 月)

編集・発行 福井県図書館協会
福井市下馬町 51-11
福井県立図書館内

図 書 館 ト ピ ッ ク ス

◆越前市中央図書館創立 100 周年を迎えて

越前市中央図書館は、町立武生図書館として大正 12 年(1923)12 月 23 日に開館し、昨年 100 周年を迎えた。山甚産業創業者である山本甚三郎氏からの寄附を受け、石造の町立図書館が建てられたのが始まりである。その後、数度の移転・改築を経て、平成 18 年(2006)越前市中央公園横に越前市中央図書館として新築移転し、現在に至る。

令和 5 年は創立 100 周年記念事業として、期間内での貸出冊数上位者へ記念バッグを贈呈する「読んで、もらおう!」など、多数のイベントを開催した。また、記念展示「図書館ヒストリ」では 100 年の歴史を振り返る年表や歴代図書館の蔵書、過去の要覧等を展示し、時代の流れに沿っていかに市民に親しまれる図書館へ変化していったかを感じてもらったほか、図書館の変遷を辿る写真のパネルも展示した。

開館記念日である 12 月 23 日には、郷土ゆかりの方々から当館に寄贈された貴重な資料や初代町立図書館の棟札など、歴史的資料を特別展示した。大変好評を博したため翌日も開催延長し、多数の方々に当館の歴史を感じていただくことができた。この特別展示の図録は当館 HP でも公開しているので、ぜひご覧いただきたい。

これまでの 100 年で、先人が守り、発展させてきたサービスと蔵書をしっかりと継承し、今後も“進化し続ける図書館”として市民の皆さまの期待に応えられるよう、鋭意努力していく所存である。

(越前市中央図書館 高坂 公子)



図書館ヒストリ



特別展示

◆第 48 回近畿学校図書館研究大会福井大会報告

第 48 回近畿学校図書館研究大会福井大会報告

1. はじめに

8月1日～31日、福井県を開催県として『自発的・主体的・創造的な活動をはぐくむ学校図書館』を全体テーマとし、オンデマンド(YouTube 限定配信)による web 視聴で開催した。

申し込み方法は、QR コードや URL から Googleform につなげ必要事項を参加者が入力。全国から約 420 名が参加した。

2. 大会の概要

①開会の挨拶 大会長 藤枝 徹
(福井県学校図書館協議会長)

②報告「学校図書館の現状と課題」
全国学校図書館協議会理事長 設楽敬一 様

③記念講演「伝えるから伝わるへ」
書家/プレゼンテーションクリエイター
一般社団法人プレゼンテーション協会代表理事
情報経営イノベーション専門職大学客員教授
前田 鎌利 様

④分科会 3 分科会で 28 発表

3. 成果と課題

対面での開催を模索していたが感染症拡大で先が見通せず、開催前年 10 月にオンライン開催に移行。12 月の近畿地区学校図書館連絡協議会で動画作成を依頼。発表者は、ZOOM や PowerPoint を利用して約 20～30 分の動画を作成した。それを本校 HP に UP し、パスワードを入力して視聴する方法をとった。

学校教育の中核として学校図書館の果たすべき役割が益々重要視されているが、感染症とともに教育 DX、ICT 活用、GIGA スクール構想など学校教育の仕組みが大きく変化した。この中でオンラインを有効活用した本大会は成功裡に終了した。勤務校以外の校種の発表が視聴できたり、勤務の隙間時間に研修ができたり、何度でも繰り返し視聴できたりして大変良かったという感想を頂いている。

感染症は終息しきれていないが、会議や研修はオンラインで行うなど、学校教育自体は大きく変化している。教員研修のあり方も転換期を迎えていると考える。

(向井ひろみ 福井県立科学技術高等学校教諭)



前田様私設図書館「つぐみ」福井県鯖江市

◆福井県学校図書館協議会

日程	内容
4月17日	理事会(科学技術高校)
5月10日	推進委員会(オンライン・科学技術高校)
9月14日	全国 SLA 第 13 回定時総会(オンライン)
2月1日	全国 SLA 事務局長会議(オンライン)
2月7日	近畿地区 SLA 担当者会議(オンライン)
	第 49 回福井県小学生読書感想文コンクール
	第 69 回青少年読書感想文コンクール
	第 35 回読書感想画中央コンクール
3月	『福井県の学校図書館第 69 号』発行

◆福井県図書館協会

日程	内容
6月1日	令和 5 年度総会(敦賀市)
6月21日	福井県図書館関係職員研修会 「図書や資料の修理と管理について」 講師:竹内洋介(富山県立図書館)
9月	令和 5 年度子供の読書活動優秀実践図書館・団体(者)文部科学大臣表彰候補者選考
3月	協会報『お泉水 No.54』発行

研 修 報 告

◆第 43 回児童図書館員養成専門講座

前期日程は令和 5 年 6 月 26 日(月)から 7 月 1 日(土)までの 6 日間、後期日程は 9 月 25 日(月)から 10 月 4 日(水)までの 9 日間開催された。主に日本図書館協会で行われたが、国内の児童サービスにおいて重要な施設である東京子ども図書館、東京都立多摩図書館、国際子ども図書館で実施される日もあった。

講義内容は、絵本や児童文学の選書についてはもちろんのこと、児童サービスの歴史や理念、図書館の運営、児童書の出版事情、さらに脳科学から見た読み聞かせの重要性についてなど、多岐にわたるものだった。また、ストーリーテリングやブックトーク、科学遊び、わらべうた、図書館 PR のためのプレゼンテーションなど、受講生が実演発表をする実践型講義も充実していた。

前期も後期も、事前に多くの課題を断続的に提出する必要があり、日常業務との両立に苦勞することもあった。しかし、課題を出された講師の先生方が、それぞれご多忙にもかかわらず、受講生一人一人の課題を丁寧に評価し、それを踏まえた講義をしてくださっていることを感じ、身の引き締まる思いがした。また、他の受講生のこの講座に臨む姿勢からも、それぞれの図書館の児童サービスに対する意識の高さが伺えた。

この講座の目的に「児童サービスを担う指導的職員を養成すること」とあるとおり、今後は自分の担当業務に留まらず、図書館全体の課題を客観的に把握し、将来への展望をもって児童サービスを行う必要があると痛感した。

(福井市立桜木図書館 堀内ゆうき)

◆令和 5 年度図書館司書専門講座

6 月 15 日(木)から 28 日(水)まで、図書館司書専門講座を受講した。今年度の講座は、15 日から 23 日の土日を除く 7 日間はオンライン講座、26 日から 28 日の 3 日間は国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修であった。

令和 5 年度のテーマは「ウェルビーイングの実現に向けて図書館が果たしうる役割」であった。ウェルビーイングとは、心身ともに満たされた状態であることをいう。オンライン講座は、社会教育における図書館の役割といった概念的な講義から選書・レファレンス・図書館とまちづくり・図書館経営と評価についてなど実践的な講座まで多彩であった。またアウトリーチサービスとして、障がい者・外国人・高齢者・過疎地の住民・矯正施設の利用者など、図書館利用に困難を抱える住民に対して図書館が積極的に働きかけ、サービスを提供している事例の発表があった。

集合研修は、4・5 人のグループに分かれて図書館サービス計画を企画・立案し、発表した。計画策定で重要なことは、上位計画(総合計画・教育関係計画等)を参照し、実現可能性を考えながら図書館のあるべき姿を描くこと、また計画は職員に周知して、実際の事業が計画のどの箇所に基づくのかを意識することが大切だと教わった。

これまで実務を中心に考えていた図書館サービスについて、理念や計画等、俯瞰的な視点を得られたことが講座受講の大きな成果となった。

(福井県立図書館 森千里)

◆令和5年度全国公共図書館研究集会

(サービス部門 総合・経営部門)

令和5年度全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)は11月9日と10日に和歌山県のホテルアバローム紀の国で開催された。研究主題は「図書館とSDGs－図書館ができる持続可能な取り組み－」で、国連で2015年に採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」について、図書館が貢献できる取り組みや、SDGsに対し、図書館職員がどのような意識をもって向き合っていくべきかという内容で講演や事例発表が行われた。

事例発表の中では、図書館の資料を使った展示や、地元団体との連携イベントなど、以前から行われていたものにSDGsを交えて実施されているものや、動画・SNSを使った活動、地元の特産物を使った取り組みなど、幅広くユニークな活動が取り上げられていた。

それら多くの活動に共通している点が「SDGsを身近に感じる」ことである。職員としてこれまで取り組んできた活動や、図書館があるその場所でしか持っていないもの、それらをSDGsを通して見直すことで、職員自身がSDGsを身近に感じ、自分の働く図書館が以前から持っていた価値・資産を新たに再生産できる可能性があるように感じた。

まずは、17の目標を1つ1つ確認して、自分が働く図書館のもつリソースや、これから行われる予定のイベントをSDGsとどのように関係させることができるかを考えてみることから始めてみるとういかもしれない。

(福井県立若狭図書学習センター 橋本育海)

◆令和5年度全国公共図書館研究集会

(児童・青少年部門)

令和5年12月14日(木)・15日(金)に長野県長野市において全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門)が開催された(14日はリアルタイム配信も実施)。福井県からは4名が現地会場で参加した。本研究集会では「児童・青少年と共にある本・情報・人の広場－図書館から世界の窓を開こう－」を研究主題として、公共図書館職員、学校司書、研究者による事例発表や分科会などが行われた。

杉山亮氏(児童書作家)の基調講演「どうしたら図書館に子どもは来てくれるか?」では、図書館では子どもに様々なサービスをしているが、来館する子ども達は親に連れてきてもらった子どもであり、図書館に来ていない子どものほうが多いはず、と話された。そして、図書館に来る子どもを増やすには、その親に子どもを連れていきたいと思わせなければならないが、来てもらえていない原因は「宣伝不足」であると指摘された。

私が参加した第一分科会「学校と一緒に「学ぶ」の窓を開く」では、庭井史絵氏(青山学院大学准教授)より、公共図書館の学校教育支援は児童生徒の学習活動や教員の教材作成活動を支援することであり、そのためには教科書等に関する情報を把握し、学校教育の現場で教員がどのような授業を行っているのか認識しておく必要がある。そして、学習テーマ別のブックリストの提供から一歩先の資料提供を期待すると結ばれた。現在当館ホームページで公開している教科書掲載の本のリスト等の情報を充実させていきたいと思う。

(福井県立図書館 杉田由記)

◆その他

令和5年度子供の読書活動優秀実践図書館・団体(個人)文部科学大臣表彰

福井県立図書館、朗読サークル Voice

◆県内公共・大学図書館の動き(2023年)

月日	内容	館名
1月1日	OA化推進を目的としたWiley, SpringerNature等との転換契約締結	福井大学
2月	福井県立図書館 移転開館 20周年	県立
3月	第2期福井市図書館基本方針策定	福井市立
4月	第2次敦賀市子ども読書活動推進計画を策定	敦賀市立
4月	永平寺町子どもの読書活動推進計画策定	永平寺町立
5/4~5/5	図書館まつりを初開催	勝山市
5/8	学外利用者の利用再開	看護大学
6/4	図書公民館への移転のため現有図書館閉館	池田町
7月	図書館情報システム更新	南越前町立
7/1~8/31	金津本陣 IKOSSA 開館 10周年記念イベント	あわら市金津
7月~9月	今立図書館開館 40周年記念展示	越前市立今立

月日	内容	館名
9/1	図書館電算機システム更新	福井大学
9/1	システム更新、セルフ貸出機設置	池田町
9/1	図書公民館ツドエル開館、	池田町
9/1	開館時間変更(月-土 9:30-18:00 日:9:30-17:00)	池田町
9/20~	「読書筆記」の新調、配布開始	福井市
10月	「福井高専読書週間」を新設	福井高専
10/27~	「読書筆記」100冊記載満了時に記念品進呈開始	福井市
10/28	みんなのわくわく本棚開設	美浜町立
11/1	電子ジャーナル価格高騰化の対応を目的とした文献複写サービス RapidILLの導入	福井大学
11/1	サピエ図書館利用開始	美浜町立
11/2	図書館まつり 初開催	おおい町大飯
11/4~	国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス開始	福井市立
12月	図書館システム機器・ホームページの更新	敦賀市立
12月	越前市中央図書館創立 100周年 令和5年当初から様々なイベント開催	越前市立中央

◆令和5年度県外研修参加状況

研修名	開催日	開催方法	参加館
オンライン講座「2022年に出版された子どもの本から」	5/12、13	オンライン	桜木
障害者サービス担当職員養成講座(初級)	6/7	オンライン	丸岡、美浜
令和5年度 図書館司書専門講座	6/15~28	※1.オンライン	県立
児童図書館員養成専門講座	6/26~、9/25~	※1.オンライン	桜木
JUSTICE 電子資料契約実務研修会	7/21	オンライン	福井大
図書館員・音訳者のための著作権セミナー	8/5	オンライン	県立
国立高等専門学校及び長岡技術科学大学との図書担当職員研修会	8/21、22、28	オンライン	福井高専
デジタルアーカイブフェス 2023	8/25	オンライン	県立
IDE大学協会東海支部 令和5年度 IDE大学セミナー	8/25	オンライン	福井工業大学
北陸地区公共図書館職員研修会	10/4	オンライン	県立、勝山、金津、美浜
国立国会図書館国際子ども児童文学連続講座	10/16、17	オンライン	丸岡
図書館等職員著作権実務講習会	10/16~11/22	オンライン	丸岡
東海北陸地区公共図書館研究集会	10/19	オンライン	県立、若狭
東海地区大学図書館協議会「図書館職員基礎研修(第9回)」	11/9	オンライン	福井大
全国公共図書館研究集会 サービス部門・総合経営部門	11/9~10	和歌山県	県立若狭、勝山
JST/CHORUS オンラインフォーラム: オープンアクセス政策下におけるモニタリングとコンプライアンスの実践	11/14	オンライン	福井大
第33回日本医学図書館協会北信越地区研修会	11/16	オンライン	福井大
国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業研修会	11/21	オンライン	福井大
障害者サービス担当職員向け講座	11/28~30	オンライン	県立若狭、美浜
図書館等職員著作権実務講習会	11/28	岡山県	県立
令和5年度国立大学図書館協会近畿地区協会事業研修会	12/1~15	オンライン	福井大
東海北陸地区図書館地区別研修	12/5~8	石川県	県立
レファレンスサービス研修「人文情報の調べ方」	12/7	オンライン	県立若狭、丸岡
第7回JMLA 学術集会	12/8	オンライン	福井大
全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門)	12/14~15	長野県	県立、越前市中央
国立大学図書館協会・中国四国地区協会助成事業研修会	12/21	オンライン	福井大
国立大学図書館協会セミナー	1/26	オンライン	福井大

※1.オンラインと一部現地開催